日本国憲法第九条（戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認）
①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸空海軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

みやざき九条の会ニュース No.33
（封書版）2015年07月10日発行

〒880-0803宮崎市旭1-3-20 くすの樹ビル
TEL:0985(24)8820　FAX:0985(22)2937
http://welove9.org/　（募金常時歓迎↓）
郵便振込　口座記号・番号 ： 01760-4-131244
加 入 者 名 ：みやざき九条の会

憲法の危機―戦後最悪の状況に抗して

瀬口　黎生

安倍総理は昨年7月1日、憲法を無視して集団的自衛権の容認を閣議で決定し、そのための関連法案や新法の提案を国権の最高機関である国会にはかる以前に、米国議会で実現を約束してきました。これは自身を憲法の上位に置く権力者の奢りであり、対米従属の端的な表れです。まさに憲法をないがしろにするものです。

現状を端的に語るもの

国会の論戦や各界の意見表明で1連の戦争法規の反歴史性や対米従属性は明らかになってきていますが、それを最も総括して端的に示したのが、6月23日に行われた志位共産党委員長の外国特派員協会での講演でしょう。つまり安倍内閣の常識は世界の非常識というものです。対米追随の戦争法規とその軍事的な野望が露わになりました。これは全く憲法9条を無視して戦争への道をひらくものです。

「文化芸術懇談会」の堕落

この野望は憲法学者をはじめ大多数の国民各層の良識で、打ち砕かれようとしています。どこからみても論理的に破綻してしまい国民の支持を得られず、世論のなかで孤立をふかめています。その危機感が、ひとつには安倍総理の「60年安保」も「イラク派兵」も国民の理解を得られなかったが、歴史はそれを認めたという強弁にあらわれていますし、もうひとつは自民党本部での6月25日にもたれた「文化芸術懇談会」なるもので、元ＮＨＫの経営委員であり、安倍のオトモダチであった百田発言や若手安倍親衛隊の発言にみられる報道攻撃などで露呈してしまいました。彼らの顔はどこを向いているのでしょうか。良識を欠いた政権政党の堕落にほかなりません。

国会多数派の歪み

今やまさに国民的な反撃の包囲で安倍総理一派は裸の王様になりつつあります。しかし、国会では小選挙区制という歪んだ仕組みのなかで多数派です。それを背景に「少数意見の尊重と会期」という憲政の基本的ルールをも無視して国会延長し、尖閣問題など近隣諸国との課題を必要以上に大袈裟にあおり、外交の貧弱さには目をつぶって、強行採決をはかろうとしています。

この暴挙を世界はみている

この無茶を世界は見ています。日本国憲法による戦後70年の平和を。その平和を歴史修正主義により転換しようとしていることを。サンフランシスコ講和条約で真の独立を目指すことなく、裏取引の安保条約で従属国に甘んじたことを。類のない膨大な軍事基地をかかえたままであることを。しかし、それでもなお平和憲法が世界の未来社会の宝であることを。

今こそ主権者としての意思表示が大切

この権力の横暴をひとりひとりが止める意志をはっきり言うときです。自分だけでなく周りの人にも働きかけるときです。ともすると軍事力が平和をまもると思いがちです。日本国憲法は前文で「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」という理想を想起しようではありませんか。

◇2015年度「みやざき九条の会」例会／アーサー・ビナード講演会（予告）

〈演題〉
「安保」と「アンポンタン」の狭間（はざま）で

講師：アーサー・ビナード（詩人・絵本作家）
ーアメリカ生まれの詩人と一緒に、この列島を見つめなおしてみませんか？新しい視点から、問題を楽しく掘りさげれば、生活の本当の「安全保障」も見出せるはずです。

日時：2015年10月4日（日）13:30～
場所：宮崎市清武町文化会館 半九ホール
参加費未定(800円から1000円、大学生以下別途考慮)
駐車場は会場近くの清武川河川敷駐車場を使ってください。
詳細は後日お知らせします。

◎（重要）当面の主な行動計画

◇宮崎県内各九条の会交流会／討論集会

日時：2015年7月20日（月／祭日）10:00～12:30

場所：宮崎中央公民館3階大研修室

☆報告　藤原宏志代表世話人

☆意見交換と討論

・九条の会宮崎県連絡会結成の提起

県内各九条の会の活動の活性化のため

・各九条の会の活動報告と意見交換

戦争法案反対や憲法を守る運動の経験、とくに、若者や市民にいかに広げるかという視点から

・誰でも参加できます。

☆連絡先tel. 080-3956-8757, ynonaka@hor. bbiq. jp

（なお、昼食時ウエルシティで飲食すれば同駐車場無料です）

◇とめよう！戦争法案討論集会

県内九条の会交流会と同日・同会場で7月20日（月／祭日）午後1時半から

講演／後藤好成弁護士

質疑応答とこれからどうするか

主催「戦争法案に反対する宮崎連絡会」

「宮崎連絡会」は当会も賛同団体として活動を支えています。連絡先090-8357-9827, ttsuruuchi@yahoo. co. jp

◇毎週金曜戦争法案反対集会

時間　17:00～17:40

場所　デパート前集会後県庁までデモ

◇7/24（金）PM5. 00～全国的運動に合わせ戦争法案反対集会―原発反対の金曜ウオークと連動、デパート前交差点

◇「とめよう！戦争法案」宮崎集会

8月22日（土）10時（午前中に注意！）デパート前交差点にて

集会の後、デモ（橘通りを一丁目交差点で折り返し、デパート前まで戻る）

主催／戦争法案に反対する宮崎連絡会

〈地域九条の会の活動報告〉

「大宮九条の会」9周年のつどい開催

―参加者の声「南さんのお話しとても良かった」「戦争法案は絶対ダメだと分かった」「今、頑張らなきゃとの思いです」「参加して良かった」などなど―

黒木利忠

6月20日（土）13:30から、〈「大宮九条の会」9周年のつどい〉が開催されました。雨の続く6月、幸いこの日だけは梅雨の晴れ間となり、南邦和さんの記念講演を聞きたいとの参加者も多く、35名のみなさんにお越し頂きました。

「大宮九条の会」は、宮崎市の大宮地域の有志が憲法9条の改悪の動きに警戒し「何かしなければ」と思っていた2006年春、全国の九条の会や「みやざき九条の会」の発足に刺激されて結成に至りました。

この間「大宮九条の会」独自の活動として〝新春のつどい〟や駅前のシール投票、〝平和の花見会〟などとともに、毎年この時期に「○○周年のつどい」を記念講演と併せ定期総会を開催してきました。

〝つどい第1部〟記念講演は「〈戦後70年〉を考える」のテーマで南邦和さんがお話しされました。南さん自身の戦争体験とともに歴史的資料をふんだんに活用され、氏力作の「歳月」などの詩も盛り込み、「戦争法案は？」と言う参加者の関心事にも応え、「戦争は平和の仮面でやってくる」など具体的で分かり易い講演となりました。南さんは韓国から帰られた直後の講演で、韓国から見たホットな日韓関係など、これまで韓国ツアーに参加された方々の関心の高い報告もされました。

南さんの講演を受けての参加者による討論では、多くのみなさんからの活発な発言がありました。

〝つどい第2部〟「大宮九条の会」の第10回総会では、「みやざき九条の会」や「大淀九条の会」「このはな九条の会」「戦争法案反対宮崎連絡会」などからの連帯のあいさつと、「教職員OB九条の会」からのメッセージが寄せられました。

当面の活動では憲法九条を踏み躙る「日本が攻撃もされていないのにアメリカが海外でする戦争に日本も傘下となって戦争する国となる集団的自衛権」阻止の運動に重点的に取り組むこと、戦争法案撤回・廃案の宣伝カーを地域に出すこと、若者向けの行動などが提案され、新

しい世話人も補充されました。
〃つどい〃最後に安倍首相への「戦争法案はただちに撤回せよ」の決議文が採択されました。

〈詩〉

（前述の「大宮九条の会」9周年のつどいで、南邦和さんが講演で、「石たち」「出自」「九条―自伝風に」など詩8編を披露しました。その中から新作「歳月」と「政党論」2編を本会ニュースに寄稿されました）

歳　月

南　邦和

十年ひと昔　その十年を七つ重ねて七十年
あの夏の日のことを　いまでも忘れない
一九四五年八月――日本敗戦
ぼくは　12歳の〈少国民〉だった
見なれたカーキ色の軍服が一週間で消え
異臭の軍隊が町になだれこんできた日
12歳の知恵で母国喪失の悲哀を味わった

刺青だらけの囚人兵の情欲の眼から
逃げまどう女たち〈その中に母がいた〉
〈その冬　この街〉北鮮咸鏡南道咸興府〉で
七七七八人の同胞たちが死んだ
飢えと寒さと発疹チブスの檻の中での越冬
練兵場の裏山に用意された共同墓地への
死体運搬の作業が大人たちの日課だった

死線（北緯38度線）を越えて
引揚船（黄金丸）で博多港に帰ったのは
一九四六年夏　街は一面の焼け野原
埠頭では陽気なGIたちがキャッチボール
その背後に「リンゴの唄」が流れていた
ものごころついてはじめて目にする祖国の
山々の蒼さが目にしみた

貧しい〈戦後〉の何年かがあり
ひとときのバブルの幻想に浮かれ
青年期から壮年期の流謫の日々の中で
ぼくは　平凡な夫となり父親となったが
異国兵のマンドリン(＊)に脅えていた
あの夏の〈後遺症〉はいまも続いている
12歳の少年は　82歳の翁になっている

（註）
〈死者の記憶〉は森田芳夫著「朝鮮終戦の記憶」より。
＊　マンドリン　77連発の自動小銃のこと。

政党論

南　邦和

〈総選挙〉という名の茶番劇を見ていると
政治家という人種の狡猾な手口がよくわかる
政治に　フェアプレーを求めるのは
泥棒に　金庫番を期待するようなものだが
〈ゴッド・ファーザー〉顔負けの
この詐術と恫喝の政治手法
政治と犯罪　この二つは同じものです
政治とは　引き金をいつ引くか知ることだ

〈自分党〉〈眠主党〉〈広迷党〉〈斜民等〉〈異心党〉
〈だんなの党〉〈末世代の党〉
乱立した政党に大義はない
〈勢力（政党）助成金〉を溜め込み
党首の預貯金を肥やす政倒（政党）政治
（政治資金は黴菌のように増殖する）
日替わりメニューの政界お笑いコントを
国民は桟敷席から眺めている

〈吉田学校〉ならぬ〈めだかの学校〉に
群れ集うチルドレン政治家たち
そっとのぞいて　みてごらん
だれが生徒か　先生か
必須課目は「証誠寺の狸囃子」
来い　来い　来い　来い来い来い
皆出て　来い来い来い
暗がりをもとめこの料亭・待合政治
二世三世議員の鎖国（小選挙区）自慢
官職　利権　外（豪）遊への異様な執着
政党（正当）政治ならぬ　夜盗政治はつづく

（註）
「政治と犯罪」の引用は、映画「ゴッド・ファーザー」より、「めだかの学校」茶木滋詞、「証誠寺の狸囃子」野口雨情詞、「ほたる来い」作詞者不詳

〈活動報告〉

宮崎県で行われた「戦争法案」に反対する議会請願について

藤原　宏志

宮崎県でも「戦争法案」に反対する議会請願運動を進められています。請願の対象議会は県議会をはじめ

18議会です。現在、各議会からの採否通知が届きつつある状況ですが、法案の慎重審議あるいは反対を求める請願が採択されたのは5議会で、継続審査が5議会、不採択が5議会、残りは未定です。

特徴的なのは、初めて請願を行った町議会で圧倒的多数で採択されたところもあり、保守的と思われていた町村でも「戦争法案」に反対する世論が深まっていることを実感したことです。「戦争法案」反対の請願が採択される度に各紙が報道していました。

県議会では「慎重審議」を求めた請願にもかかわらず、多数会派の自民党、公明党の「党議拘束」がかかり、常任委員会で不採択になりました。しかし、本会議での討論は新聞紙上に「慎重審議も否決」という見出しで詳報されました。この運動を担ったのは「秘密保護法を考える市民の会」（みやざき九条の会の会員を中心に市民で作った運動体）です。

〈投稿〉

新聞を読む

矢野　勝敏

成人してから新聞購読は欠かしたことがないが、約半世紀以前からは、もっぱら「朝日新聞」と「しんぶん赤旗」を読んでいる。集団的自衛権行使容認が安倍政権により、去年7月に閣議決定されてからは、赤旗は1面トップで関連記事を報じている。憲法違反と思われる容易ならざる事態なので、緊張感をもって読まざるを得ない。一方朝日は、ニュース性を重視した記事がトップで、特に緊張感を誘発しないので気楽だ。そうした昨今、私の視点で意に留まった記事を少々採録してみる。

先ず、劇作家　永井　愛さんの「演劇人は非戦こそ選ぶ」の表題の中の小見出し「どんな言葉なら」の一節（赤旗　6月4日）。

「日本では、会社でも学校でも、話し合って解決するより力で押さえつけるほうが有効だと信じられる土壌があり、この中で誕生してしまったのが安倍政権です。実生活では力の支配に対して沈黙することが当たり前になっている人たちに、どんな言葉が届くのか。憲法の改悪や、戦争法案を阻止しようとする人たちは、しっかりと現状認識した上で働きかけていく必要があるでしょうね。」

ごもっとも、しかし、それが一番難しいことですよね。

次に、「戦争法案　全参考人が『違憲』」（赤旗6月5日、1面トップ）。

「憲法学者3人『安保法制は違憲』」（朝日6月5日、1面、4面）。

4日の衆院憲法審査会で、憲法学者3氏、長谷部恭男（自民推薦）、小林節（民主推薦）、笹田栄司（維新推薦）が参考人として戦争法案（安保法制）は憲法違反と全員が意見表明して、与党に危機感を募らせた。

赤旗では、吹き出しの表示で、長谷部参考人「集団的自衛権が許されるという点は憲法違反だ」、小林参考人「海外に戦争に行くというのは、憲法9条、とりわけ2項違反だ」、笹田参考人「（従来の政府の憲法解釈を）踏み越えてしまったので違憲」、と報じている。

朝日の報道も同趣旨だが、小林参考人が今の安保関連法案の本質について戦争法だと断じ、平和安全法制と名付けた安倍首相や政府の姿勢を「平和だ、安全だ、レッテル貼りだ、失礼だ、という方が失礼だ」と言った小林発言、また、笹田参考人が内閣の判断で憲法解釈を変えることについて、戦前のドイツでナチスの台頭を許した「ワイマール体制のことを思う」と言及したことが特に意に留まった。

さらに、「政府、与党内には、今後の衆院特別委員会の審議に冷や水を浴びせかねないとの見方が広がり、『委員会の存立危機事態だ』との声も出た。」との朝日の報道に注視しよう。（6月5日記）

憲法がやっと私の手元に

宮原宣子

今や風前の灯火となっている憲法9条。「国権の発動たる戦争と武力の行使を永久に・・」と謳った世界にもまれな平和憲法を、私は何があっても守り抜かねばと思っている。問題の安保法制案が決議されれば9条は空洞化し、憲法の他の条文も時の政権により都合の良いよう解釈変更できることになる。そうなれば、もはや日本は立憲国家ではなくなり、私たちは時の政権に翻弄される漂流市民となり果てるのではないか？

朝日新聞に連載されている「新聞と9条」によると、憲法は1947年5月施行され、制定直後は多くの新聞社説で9条の平和主義を支持したが、政治家から侵略戦争の反省や戦争責任を追及する声は低調で、戦犯者の誰一人「悪かった」と言わなかったとある。また「天皇は米軍が沖縄を長期に軍事占領することを望んでいる」と宮内符寺崎氏が連合軍外交局長シーボルトに語ったなど、驚くべき事実が記されている。

1950年6月朝鮮戦争勃発、51年2月国務長官顧問ダレス氏が日本の再軍備に言及。2か月後、自衛の為という警察予備隊発足、51年9月サンフランシスコ講和条約調印。日本は米国の占領から独立し日米安保条約に署名、米軍による沖縄占領は続行。54年自衛隊発足、60年新日米安全保障条約に署名。その間、米国や政権中枢から日本の再軍備論は幾度もおきては

踏みとどまる。以後55年の間に確実に9条の外堀は埋められ続け、ついに2015年安倍内閣の安保法制案(戦争法案)が審議入りし、日本の土台を揺るがす戦後最大の9条の危機に直面している。

しかし、私にとってこの数か月は大変に重要で貴重な時間だった。何故なら私にとって「日本国憲法」は理想的なスローガンにすぎず、個人的な生活とは所詮関わりないという認識だった。

ところが今回、安保法制案は多くの専門家が憲法との整合性を綿密にチェックし激論し「違憲だ!」と批判。成程!「憲法」は私の暮らしに関係する法律や政策が、正しいものかどうかを判断するための唯一頼りになるリストなのだった。国会決議まであと3ヶ月、しっかり憲法を守り抜きたい。

小林節著『白熱講義!集団的自衛権』を読む

本村一郎

改憲論者として知られる小林節氏の『白熱講義!集団的自衛権』を読んだ。その中で、小林氏は、安倍内閣の集団的自衛権行使容認の閣議決定について、「一に憲法違反であり、二に民主主義の手続き違反である」と明快に述べている。先日の国会の憲法審査会でも、「安保法案は憲法違反」と述べ、安倍内閣が野党の質問にまともに答えようとせず、数の力で強行突破を図ろうとしていることに、「貴族独裁政治の始まり」と痛烈に批判している。

長年、自民党の憲法「改正」問題の相談役のような立場にあった小林氏だが、安倍内閣の立憲主義を踏みにじった政治に対して、憲法擁護の立場を明確に打ち出して、今や政府批判の急先鋒に立っている。

昨年九月に出版したこの本では、政府が集団的自衛権行使の例として出した十五事例について、一つづつ現行法の関連条文を挙げながら解説している。小林氏によると、十五事例は、ほとんどが個別的自衛権の問題で、現行法の不備を補えば解決できるものなので、あえて集団的自衛権を持ち出す必要はないとしている。小林氏は、どうしても集団的自衛権が必要なら、憲法改正を「真正面から正々堂々と」国民に提起すべきだと主張する。また憲法改正ができたとしても、集団的自衛権は「大国が戦争をする口実」に使われてきたので、厳重に管理すべきだとしている。真にもって正論である。

また、この本では政府が合憲の根拠とする「砂川事件の最高裁判決」にも触れ、砂川事件で問われたのは在日米軍基地の合憲性で、日本の集団的自衛権ではないとして、「根拠は存在しない」と述べている。

小林氏は日米安保条約や自衛隊について批判的立場ではないようだが、日本に米軍基地を置かせているのは「米軍への出血大サービス」だとして、日米安保が片務的であるとの政府の主張を明快に退けている。また、「アメリカの軍艦に乗って帰ってくる母子の例」は「軍事常識ではありえない」として、「安倍首相はアメリカの船を守ることを目指しているようだ」と述べ、日本をアメリカといっしょに戦争する国に変えようとする今回の安保法制の狙いを看破している。

最後に、小林氏の改憲論に触れておこう。小林氏は、日本国憲法の三大原理を高く評価しており、それを守り発展させるために「護憲的改憲」を提起している。自民党の「日本国憲法改正草案」については、立憲主義を理解せず、明治憲法的改憲を目指すものだと、厳しく批判している。傾聴に値するのではないかと思う。

多くの人に一読を勧めたい本である。

心打たれた「みるく世がやゆら」

河野正子

6月23日の沖縄慰霊の日、沖縄の与勝高校3年の知念捷(まさる)さん(17歳)が、自作の「みるく世がやゆら(今は平和でしょうか)」を朗読しました。

それは沖縄戦で夫を失い、戦争未亡人として戦後を生き、今は90歳を超えて折れ曲がった体をベッドに横たえている祖父の姉を歌ったものです。記憶が「漆黒の闇」に消えようとする中、彼女は戦争未亡人を歌った「軍人節」を繰り返し歌います。夫の帰りを待つ戦争未亡人を自分と重ねているのでしょう。

知念捷さん自身は戦争を知らない世代ですが、彼女の姿を見ることによって、「忘れてはならぬ彼女の記憶を、戦争の惨めさを伝えねばならぬ」と決意するのです。

この詩は古の琉球人が詠んだ琉歌がもとになっています。「戦世(いくさゆ)や済(し)まち(済んだ)。みるく世(弥勒の世・平和な時代)ややが て(来る)。嘆(なじ)くなよ 臣下。命(ぬち)ど宝」。しかし本当にそうなったでしょうか。知念捷さんは、「みるく世がやゆら(今は平和でしょうか)」と問いかけます。島中に米軍基地があり、更に新しく作られようとする現実は決して「平和」とは言えません。

ウチナンチュウーは琉球時代から平和を望んできました。琉歌にある、平和への熱い思いがこの詩を生み出したと言えるでしょう。

沖縄戦で亡くなった家族の名前の前で涙を拭う遺族たち　（平和の礎・朝日新聞）

「地球の裏側」の友よ

河野富士夫

集団的自衛権の行使となると、日本の自衛隊は「地球の裏側」まで行って米軍の戦争に荷担することになるのでしょう。

私はヨーロッパの大学で「地球の裏側」のような遠い国々からやって来た多くの青年と友達になりました。チリ、ブラジル、キューバ、イラク、ウズベキスタン、それに北朝鮮、中国…。みんな勉強好きで、陽気で、すぐに恋人ができます。私が３人の小さな子供を連れていった時は、特にイラクの若者が初めて見る「日本の子供」を気に入り可愛がってくれました。子供たちも片言のドイツ語で会話していました。

忘れられないのはイラク青年のマンムートです。その名を聞くと子供たちはマンモスと呼び、学生食堂で姿を見つけると、大声でハロー・マンモス！と呼びかけます。マンムートは留学 生の身なのに気前よく子供たちに奢ってくれます。イラク戦争の時は、マンムートたちはどうしただろうかと家族で案じました。自衛隊はそんな人々をも攻撃するのでしょうか。

日本では、特別措置法で派遣された自衛官の自殺とか、自衛隊員の危険の増大が大問題になっています。それもまた由々しき問題です。しかし同時に、こち ら側から放たれるミサイルや弾丸の落ちるところではもっと多くの異国の人々が犠牲になることを忘れてはいけません。

フランスのシャルリーがテロリストによって殺害された時には各国の首脳が集まり「ジュ・スイ・シャルリー（私はシャルリー）」のプラカードを胸 に付けてパリを行進しました。後藤健二さんの時も大きな抗議の声があがりました。「ひとの命は地球よりも重い」のです。しかし中東などで一度に何 百人の兵士が殺されたり、自爆テロで何十、何百人が犠牲になったりします。だが日本のマスコミで取り上げられるのは１、２日でないでしょうか。命 に軽重があるように思えることしばしばです。

イラク戦争の時、イラク人の死者数は米兵の戦死者の40倍、ベトナム戦争の時は実に２５０倍もありました。米兵一人が何十人、何百人と殺したのです。米軍の近代兵器は中東などの兵器とは破壊力が違います。それに日本の自衛隊が加わったならどうなるのでしょう。想像しただけでもゾッとします。

日本から遠く離れた異国の母や子や老人や若者、また私の友だちはそんな恐ろしい米国や日本が海を渡って来ることを望まないことでしょう

会員からのメッセージ65通（5/3憲法記念日の「ピースウォーク」案内往復ハガキへの返事から抜粋）

１　今、何が起きようとしているのかをしっかり見きわめ、くいとめなければなりません。（宮崎市IK女60代）

２　政治の状況をみると、あせりを感じます。日常的に九条の会の考えと活動を地域の住民に知らせていく活動（例えば継続したビラ入れと個別訪問など）などは？（宮崎に居る時はデモ等に参加するようにしています。（日向市MK女70代）

３　政府（与党）はいつも国民を言葉巧みにごまかして、やりたい放題。日本をとんでもない方向に向かわせていることに対して、なんとも悔しく、腹立たしいことはありません。国民の信託を得ていると豪語することに対して、やはり国民の一人ひとりが目覚めるしかないと思う。戦争でどれだけ多くの大切な命が奪われたのか、靖国神社に行って上辺だけの事のお参りをすることで、すり換えられるものではなく、もっと死者の魂が何を語っているのか、真剣に耳を傾けるべきと思うのです。（佐土原町TM女70代）

４　ニュースを聞く度、新聞を読む度、居ても立っても居られない昨今ですが、今一番大切な事は行動を起こすことですね。初めて友だちを誘ってピースウォークに参加します。（宮崎市MR女70代）

５　憲法九条が世界遺産になるといいけど！マスコミももっと強く安倍首相を批判して欲しい。（三股町YM女60代）

６　おせわになっています。なかなかピースウォーク等実活動に参加できませんが、いつもニュースには心を留めています。私のように応援している人たちはたくさんいると思います。あきらめずにいきたいですね。（清武町AT女70代）

７　あれほど反対した安保条約、今やその枠も越えて、戦争できる国へ拡げ

て行きつつあります。九条はどうなるのか、気がかりです。（宮崎市HK80代）

8　戦争体験最終年代の者（昭和20年小学校1年生）として、戦争の恐ろしさやひもじさを機会ある度に話題にしています。（宮崎市IS男70代）

9　安倍首相は平成に咲いた、またもやあの忌まわしい戦争時に引き戻そうとするあだ花です。即刻摘み取らねばなりません。（宮崎市SK男70代）

10　アベ総理アナタは他人の子や孫だけをアテにして海外派兵を命じるのですか。他人の子を戦場に送る場合、本人の承諾や家族親などの理解なしに、国のためとか法に基づいてとかの理屈をつけて実行してしまうのは、権力による殺人罪になりませんか。国の主人公は国民です。国民が国を作り守ります。主人公の承諾なしに進める戦争準備は公僕犯罪です。公僕が憲法改正を言い出すのは99条違反です。（都城市HS男80代）（編集者注ー第99条〈天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う〉

11　9条はなんとしても守らなければなりません。基地の町新富町で革新候補がトップ当選しました。誰もが平和への危機感を持っているのではないでしょうか。あきらめずに9条の会に参加したいと思っています。（新富町ES&T夫妻60代）

12　あべさんの米国でのニュースを見て「どこまで恥知らずな男だろう。あなたにふさわしい名前は文字通り”売国奴”だ」と思わず叫ぶ私。こんな言葉を使う私ではないが思わず出してしまった。彼には人間としての誇りはないのか。沢山のあまりにも多くの命と涙と苦しみと汗と血を払って得た平和憲法9条、どんなことがあっても守りたいと改めて心に決することでした。（宮崎市KY女80代）

13　日頃の活動感謝いたします。より多くの人々に拡散するすること、無関心な人々を振り向かせること、大変なことだと思います。どのようにしたら良いのか？方法が見つかりません。そうこうしている内に権力に汚染され、思考力を失ってしまうーーと心配です。結局『できることをやる』しかないと思ってしまいます。（宮崎市KN女70代）

14　各地にある9条の会と県9条の会との関係を適切に「結合」（連絡）して、運動を構築出来ないだろうか？日向、門川9条の会は閉店休業状態です。事務局を再開せねばと思っています。憲法改正が現実味をおびてきました。（門川町SS男70代）

15　ITより逢いてえ！脳梗塞再発で昨年7月15日より入院して、現在は宮崎の長女宅で療養中です（リハビリ）。（椎葉村KK男70代）

16　国民の声を無視する自公政権許せない。平和と民主主義をもて遊ぶ自民党、平和と福祉の党と言う公明党、きれいな言葉にまどわされないように小さい一歩だが世界に誇れる憲法9条を守るために声をあげたい。（佐土原町SG男60代）

17　地方選が終わり、議会には9条を守ろうとしてくれる人は選ばれたと思います。しかし、多数がどうかというとそうではないようです。首長にいたっては自民党寄りが圧倒的に多く暗たんたる思いです。この9条の会も上面だけってことないでしょうか。「戦争イヤ！」は多数ですのに政治家を選ぶ基準は別物なのですね。明日戦争が起きてもわたしはいい！だけど子どもや孫は絶対に戦争を知らないままに一生を送ってほしいです。（宮崎市MY女70代）

18　先日、自民党衆議院議員より、「今こそ八紘一宇の精神を広く推し進めていくべき」という、とんでもない発言がありました。アジア侵略戦争のスローガンとして使われた言葉を意図的に使ったのか真意は不明ですが、宮崎の公園に問題の石碑がありますね。この石碑の存在を広く市民に知らせ撤去させる運動をしていくべきではないかと思いますが、如何でしょうか？いつでしたかテレ朝の番組で宮崎市にこの石碑があることを紹介していまして恥ずかしい思いをしました。（宮崎市MN女70代）

19　世の中で一番ほしいものは健康です。病気になってお金もモノも何もいらない。自然ー人間も自然ー人間が自然と共にシンプルに生きることが、生きることと思えてなりません。私の想いです。もちろん平和九条は大切です。（女60代）

◎感謝！　長井正三郎様より会員故長井晴子様の葬儀に際し、多額のカンパを戴きました。緊迫した情勢のもと、当会の活動資金として有効に使わせていただきます。。〈事務局〉

20　今の情況が子どもの頃の「見ざる聞かざる言わざる」の時代を思わせ非常に不安です。私はもう先が長くないので見なくてもすむかもしれませんが、孫の時代を思うと不安です。情報統制が何よりも恐いです。一党独裁政権の行く先は時代の後もどりです。若い人たちに選挙への関心を高めてほしい。音もなく近づく黒くもの様で不安を感じます。私が12才の時戦争が終わり電球を明るく灯した夜のうれしかった事を思います。頑張って！！九条の会、頑張ろう！！九条の会です！！（宮崎市NR女80代）

21　「世界に誇れる9条を守ろう」
憲法が定める平和主義、民主主義、基本的人権を踏みにじる動きが顕在化し、原発再稼働の動きも強まっています。私は将来の日本がどうなるのか気が気ではありません。
　福祉予算を削り、防衛予算を5兆円という過去最大に増やし、改憲の準備が進められています。世界に誇れる日本の憲法9条を、どんなことがあっても私たちは守らなければなりません。私は第2次世界大戦を7歳まで体験しました。延岡大空襲も体験しました。人がたくさん死に、あちこちの家が燃えている中を、山の裾野に掘られている防空壕に向かって走るとき、死体を踏みつけた感触は一生忘れられません。
　雇用や教育、医療、福祉、介護など身近にたくさんの課題を抱え生活している普通の人達の願いや、思いを実現していくのが本当の政治ではないでしょうか。（15/3/21 宮日新聞掲載 宮崎市HJ70代）

22　日本生協連の「沖縄・戦跡・基地めぐり」に参加しました。辺野古に基地を造らせない闘いは「九条を守り、戦争をしない国」への闘いと同じなのだと思いました。「オール沖縄」は「オール九条守る」運動とつながっています。みやざき九条の会に日常的な運動の不足を感じています。（宮崎市HK女70代）

23　戦争を是とする事柄、理由などありえない。戦争で最も被害を受けるのは、弱き立場の者、老人、女人そして子ども。スペインのマドリードの美術館でピカソの”ゲルニカ”（第2次大戦中ナチスの無差別爆撃を受け逃げ惑い泣き叫ぶ老人、女人、子供そして牛馬を描いた抽象画）を見て強く心を打たれた。（宮崎市HH男70代）

24　憲法9条の解釈変更についての閣議決定！？　憲法の番人である最高裁判所は何か言うべきじゃないのか。憲法解釈を内閣に勝手にさせてはいかん。（宮崎市DM男70代）

25　今度の選挙（県議・市議）で政策を訴える電話かけをしました。今回ほど「安倍さんはこわい」という戦争体験者の声をきいたことはありません。「戦争だけはやめさせて」という声が予想以上に多いことに意を強くしました。憲法違反の戦争立法に反対する集会を団地ごとにやっていく必要があるのでは。小さな身近なところから声をひろげていくことも重要ではないでしょうか。（宮崎市IM女60代）

26　何も会員らしいこともせず、心苦しい限りです。車に“I love 9条”のステッカーをはって走ってるくらいです。以前はもっと多くの人が貼ってたように思います。今こそはって走りたいと思っているのは私だけでしょうか？（宮崎市NC女70代）

27　日本国憲法は憲法が最高法規であること、これに違反する法律は無効であることを明記しています。憲法九条が生きている限り、政府は軍事権を発動することはできません。来年の参院選が日本の命運を決します。（宮崎市NY男60代）

28　県南9条の会はやっと2年目を迎えます。県9条の会の5月3日のピースウォーク、前々から外に向けての行動の必要性を思っていましたので、うれしく思います。5月3日の各地のビラ配布のビラを本部で作成してもらえると、各支部は助かります。（日南市OT男70代）

29　小学校、中学校等の生徒が多く出席・参加できる企画が必要と考える。高齢者が中心の催しでは、憲法9条の運動は未来への展望が暗い。（宮崎市KM男70代）

30　子どもを再び戦場におくるな。ピースウォークの大成功を祈る。（日南市IK男80代）

31　3/27（金）　世界に誇れる9条を守ろうと宮日に出しました。これを大きくして私の15年通っているジムの伝言板にかかげました。ところが反対という人がいて、4ヶ月後に取りはずされました。その人の意見をいただくことになっていますので、くださった時点で彼の意見を知りたいと思います。

次に、私は心不全でマーカーが　333.9と上がっていました。それと脚通のためピースウォークに参加できません。残念です。皆さんによろしくお伝え下さい。（宮崎市女HJ70代）

32　一強多弱のもと、全国各地で日増しに戦争準備が整いつつあります。あなた任せの隙に徴兵制度も閣議決定が現実になります。この国の行く末を案じます。（宮崎市男AS70代）

33　第９条の会はどれだけのメリットがあるのだ。近況を知りたい。第９条は私は賛成する。今の安倍首相はろくな男ではない。やめさせて見たいですね。自民党の他の人は何と思っているのだろうか？　公明党は福祉の党ではない。（?.?80代）

34　10月４日のビナードさんの話は予定に入れておきたいと思います。（宮崎市AK&AJ60代）

35　70歳になっても不如意ですが、この緊急時において、当地でも「日南九条の会」あるいは「県南九条の会」を発足させねばと思います。つきましては、会設立の約束ごと（人数とか会費とか）を教えていただきたいのですが。（日南市、IH、男、70代）

36　日本国憲法はどこかでじっと厚い本として置かれているのではない。この事をこの年でやっとわかりました。「日本国憲法：大阪のおばあちゃん語訳で、わかりやすい言葉で書かれていて、読むにつれ、日本国憲法は日本国民（主権者）の声をまとめたものである事、だからただの本というのではなく、私たちの声（想い）そのもの。権力者が書き替えたらすむものでもない。彼らは私たちの声（想い）がわからないのだから。その事を権力者にわかってほしいですね。安倍さんの不見識がよくわかります。（宮崎市WH女60代）

37　私は先の戦争を小学生ながら体験しました。小学校４年生になる孫（男の子）を戦争にやってはならないと思っています。憲法９条は絶対に守らなければなりません。

○慎太郎を戦場に送ってはならぬなり
「みやざき九条の会」にわれ署名する
短歌一首　（宮崎市NR女80代）

38　色々とぶっそうな時代になり、九条を守るだけでいいのか？とぐらついています。話し合いで、平和的に、と相手が思わないときにはどう？もはや、体力がなく家から出られないのですみません。（木城町TM女60代）

39　少人数（40～100人）の企画を考えたらどうでしょうか？またきらくな気持ちで参加できるような企画。（宮崎市IH男70代）

40　私は大淀九条の会の会員ですが、県内の九条の会の動静を定期的に広報して頂きたいと思っています。それには論説とともに各九条の会の活動を集約し機関誌を定期的に発行する必要があると思います。事務局体制の強化を望みます。（宮崎市YK男80代）

41　交流会の開催を期待します。（宮崎市HK男70代）

42　天候不順な日が続いていますが、皆々様お元気で日夜人の平和のため労しておられることと思います。人の愛が冷える時代を迎え、いつどこで何が起こるかわかりませんが、どこかに人の幸福を考え提言される方々がいることを感謝しています。（宮崎市TK男70代）

43　大宮九条の会会員をもっと多くしたいと思っています。（宮崎市TT男80代）

44　共産党や社民党で一つになれないものか。そこにイライラします。憲法は大切。表面だけでも一つになれないものか。（小林市SA男）

45　アーサー・ビナードさんの講演会とても楽しみです。万難をはいして馳せ参じます。（延岡市MT女50代）

46　いつもお便りありがとうございます。2011年1月より体調不良で自宅療養中です。送付されたものには目を通していますがなかなか協力できないことを恐縮に思っています。（門川町YK女80代）

47　進行する眼の病のため読み書きが難しくなりつつあり活動できない状況です。会員である事だけが意志表示です。（日南市YM女60代）

48　体は次第に行動的でなくなってきている。しかし精神的に健在な間は九条を守りぬくために、その意思を鮮明に表して生きたい。息絶えるまで。（佐土原町SH男80代）

49　憲法改正の国民投票が行われる前に「現憲法を守る」という人をふやしていく活動をしたいです。２時間前後で理解できるようなプログラムを身につけて、お茶を飲みながら話し合えるような憲法カフェを各地で何回も開けたらと思います。（綾町MS女50代）

50　自民党政権下で少しずつ戦争する

国に動いています。孫たちのこれからが心配です。武器で平和は作れません、断じて！9条を守らなくては。（宮崎市WA女80代）

51　最近体調が悪く、県病院や宮崎医大へ入院してペースメーカーを入れた。そのこともあって車の運転ができなくなり、不自由を感じている。今までのように自由に行動できない。（宮崎市YT男70代）

52　戦中に生まれた身としては、初めて憲法前文・九条に触れた時の感動を忘れられない。警察予備隊→保安隊→自衛隊、そして軍隊が曲解を重ね重ねて地球の裏側までも行くとか。憲法遵守の公務員（国会議員含む）が憲法をないがしろにしている。解釈改憲・閣議決定・国会軽視・安倍独裁。（宮崎市NK男70代）

53　皆様お疲れ様です。足元の人づくり　絆づくり　オーガニックのまちづくり　そして世界平和へ！（宮崎市HS男）

54　ご無沙汰しております。夜勤勤務などでご協力できず恐縮しております。九条を守らないといけないという思いでは、強い決意を持っております。ご協力できる範囲でがんばっていきます。（宮崎市IS男50代）

55　政党政治は翼賛体制化が完成しつつあるのではと感じられるほどです。様々な民主的、革新的な諸組織、政党が本当に今の政治を変えるような何かに結集するかが問われていると思います。（宮崎市TT男60代）

56　お便りが文字ばかりで重たすぎる。最後まで読み終わることはほとんどない。そんなことではいけないのではないでしょうかね。（宮崎市YT女70代）

57　このところ体調に変動があり、ごぶさたしています。九条の会はいよいよもって活躍が期待されますね。皆様のご苦労に敬意を表します。（西都市SK男70代）

58　このところ日本の国の雲行きがますますあやしくなってきました。全国の九条の会がしっかり根を張って流れを変えなければと思います。なかなか行動を共にできませんが、かんぱのみでお許しください。（三股町MS女70代）

59　テレビで「地球の反対側までも戦争に参加する為に行けるようになる」と言っていたのを聞いて、本当におそろしくなりました。韓国のように徴兵制度などができたら・・・と思うとゾッとします。（TS女60代）

60　九条の会の活動はできないのですが・・・この会の意義はたいせつだと思っています。皆様の会への尽力を感謝いたしております。若い人の会を何か企画できたら・・・とか。何か教室をつくってみては？と人便りでスミマセン。（S女60代）

61　いつもご苦労様です。戦争立法反対、憲法九条を守りましょう。自衛隊を戦場に送るな、若者の命を守ろう。（宮崎市HM男60代）

62　青年の爆発的な生への発露が押さえつけられている社会には未来がない。若者にバトンタッチする日を信じて、私たち高齢者は気力充実、がんばろう。（宮崎市MS男70代）

63　本当に不気味な気配を感じつつ自分自身はいつも「今日一日のこと」で手一杯で何一つお役に立ちませんが、またウォークにも殆ど参加せぬままですが、今日は参加予定であります。お働き感謝です。（宮崎市YY女60代）

64　いつも元気づけられるニュースをいただきありがとうございます。私、膝関節 症で歩行不自由で集会などに参加できず残念です。皆様のますますのご活躍を祈念します。（宮崎市KM男80代）

65　いつも通信ありがとうございます。10月のアーサービナードさんの講演会にはぜひ参 加したいと思います。70年間守りぬいた平和を安倍ドンに壊されてはたまりませ ん。故アレンネルソンさんの9条を抱きしめてのDVDはよかったです。新婦人小林で観ました。（小林市KK&K50代）

雨天の中、５・３ピース
ウオーク（約80名参加）